

## 議事録

1. 件名：「核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る影響評価手法の精緻化（その2）」に係る打合せ
2. 日時： 令和2年10月19日(月) 16:00～17:00
3. 場所： 原子力規制庁 会議室(web会議)
4. 出席者： 原子力規制庁  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門  
大橋首席技術研究調査官、日比野統括技術研究調査官、北村主任技術研究調査官、永井技術研究調査官、吉村技術参与、澁谷技術参与  
  
三菱重工業株式会社  
パワードメイン 原子力事業部 機器設計部 主任 他5名
5. 要旨：  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に対する構造健全性評価手法の適用性を確認するため、核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る安全研究を、平成29年度から令和2年度にかけて計画し、実施している。当部門では、本安全研究の一環として、三菱重工業株式会社と請負契約を締結し、「令和2年度核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る影響評価手法の精緻化(その2)」事業を実施している。  
当事業に係る第7回打合せを実施した。内容は下記のとおり。
  - ① ボルト材の弾塑性解析モデルを確認した。
  - ② 下部衝撃緩衝体圧潰試験の再現解析について検討した。
  - ③ 技術検討会の日程を検討した。
  - ④ 作業の全体工程を確認した。
6. その他  
特になし